



を発信するサステナブルマガジン

グラフ文伸



Vol.17 SPRING
2025
GRAPH BUN-SHIN Plus

創造への挑戦! 「伝える」をもっと豊かに

＼ 特集 /
文伸の
印刷いまむかし

＼ 文伸×地域ゆかりのクリエイター /
Revoria試してみた!(金子英夫さん)
キン・シオタニの「この商店街に行ってみよう」ほか
＼ NEWS&TOPICS /
わくわく仕事アワード2025春
文伸10大ニュース

文伸の印刷いまむかし

謄写版印刷（ガリ版）

版自体に穴を開け、そこからインクを擦りつける手法（「孔版」）を利用する「謄写版印刷」。表面にロウを塗った「原紙」に鉄筆で文字や画像を書くと、描画した部分のロウが削られ、その上からローラーなどでインクを塗ると、削られた箇所だけインクが押し出されて印刷されるという仕組みです。原紙を削る音から「ガリ版」とも呼ばれます。文伸印刷はこの「ガリ版屋」としてスタートしました。



創業当時、謄写判印刷の原紙筆耕をする、創業者・川井捷一郎



謄写版印刷で制作された創業時の御挨拶状（右）と、同時期のシルクスクリーン印刷による年賀状（左）

1962年～

軽オフセット印刷

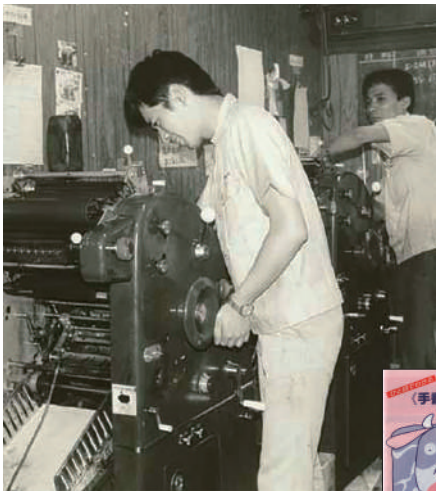
平らな版を用い、水と油の反発を利用して印刷する手法を「オフセット印刷（平版印刷）」と言います。多くの印刷物はこのオフセット印刷によるものです。この原理を応用した簡易印刷方式を軽オフセット印刷といいます。多色刷りはできませんでしたが文字主体の印刷に適し、特に印刷の版をアルミでなく紙にした紙版とのコンビで、コストを抑えた印刷方式として力を発揮しました。小中学校の手書き卒業文集や「手書き年賀状」はその代表的な印刷物でした。



単色機

両面機

二色機



床上軽オフセット印刷機を扱う、現会長・川井信良（撮影当時28歳）



当時人気となった「手書き年賀状」セットは、ダイレクト製版機と軽オフ機を駆使して制作され、全国の同業者にも販売した

1970年代～1990年代

本格オフセット印刷

新世紀の到来は、文伸の軽印刷全盛時代の終わりでもありました。この頃になると、多くの仕事で品質を求められることが増え、軽オフ機での印刷だけで仕事をまわすには限界がありました。そこで、高度な印刷品質を安定供給するべく、本社移転のタイミングで、新社屋に世界最大の印刷機メーカー・ハイデルベルグ社製のオフセット機2台を順次導入。本格印刷機の導入により、自前で高精細な印刷が可能となりました。

このハイデルベルグ機の活躍期間は長く、2色機は2024年12月まで、4色機は現在も稼働。文伸の多くのプロジェクトを支えました。



2005年8月ハイデルベルグ社製の菊半裁4色印刷機を導入。フルカラー印刷も内製化に



2002年2月ハイデルベルグ社製の2色機を導入したことは、文伸にとって大きな転機となった

*軽印刷…少量～中量の印刷物を効率的に作成する印刷方法



データから直接印刷できるオンデマンド印刷機



デジタル印刷で制作したエコメモカレンダー

デジタル印刷（オンデマンド印刷＝POD）

1990年代後半～2000年代前半、デジタル化の波は印刷業界にも押し寄せ、文伸もデジタル印刷に乗り出します。「デジタル印刷」は、従来の印刷手法と異なり、版を作らず、デジタルデータから直接印刷機で印刷します。版の破棄や廃液の排出がなく、必要な時に必要な量を印刷することで予備紙が軽減されるなど、環境にやさしいのも特徴です。短期間で印刷でき、中小ロット、多品種製造に向いています。

2025年

高精度デジタル印刷

多様なニーズにお応えするため、2025年1月、富士フイルムビジネスイノベーション製のデジタル印刷機 Revoria Press PC120S-αE1136を導入。PC120Sでは高速かつ高精度な印刷ができ、インキの4原色 CMYK（シアン、マゼンタ、イエロー、黒）に加え、最大2色の特殊トナーを搭載できるのが特徴。それにより、かつてない豊かな色表現ができるようになります。対応する用紙の種類やサイズも幅広く、多彩な後加工も可能です。



高速プリントが可能なデジタル印刷機



強力な冷却装置を搭載。紙が熱くなるのを防ぎ、加工品質と作業効率がアップ

「むかし」のグラフィックを「いま」の印刷で!

今号の表紙をチェック



創業時に謄写版印刷で制作された挨拶状の蝶を図のモチーフにして、地には Revoria の特殊トナー（シルバー・ゴールド）を全面に使用し、本機の特徴を一目でわかるデザインを目指しました。

ありがとう! ハイデルベルグ SM-74 2色機

22年間、数々のプロジェクトを支え、文伸の印刷品質の基盤を築いたオフセット印刷機（SM-74 2色機）が、役目を終えて2024年12月に引退しました。BUN-SHIN Factory を旅立つ前、感謝の気持ちを込めて、フェアウェルセレモニーを行いました。その後無事に搬出された同機は、メンテナンスされ、インドで活躍予定とのこと。今まで本当にありがとう!



「超・街の印刷屋」を目指し、新しい価値の創造に挑戦し続ける私たち文伸。印刷以外の業務でお役立っていたく機会が増える中でも、やっぱり印刷にはこだわりたい! そんな思いを込め、制作現場を支えてきた印刷技術の変遷を辿ります。

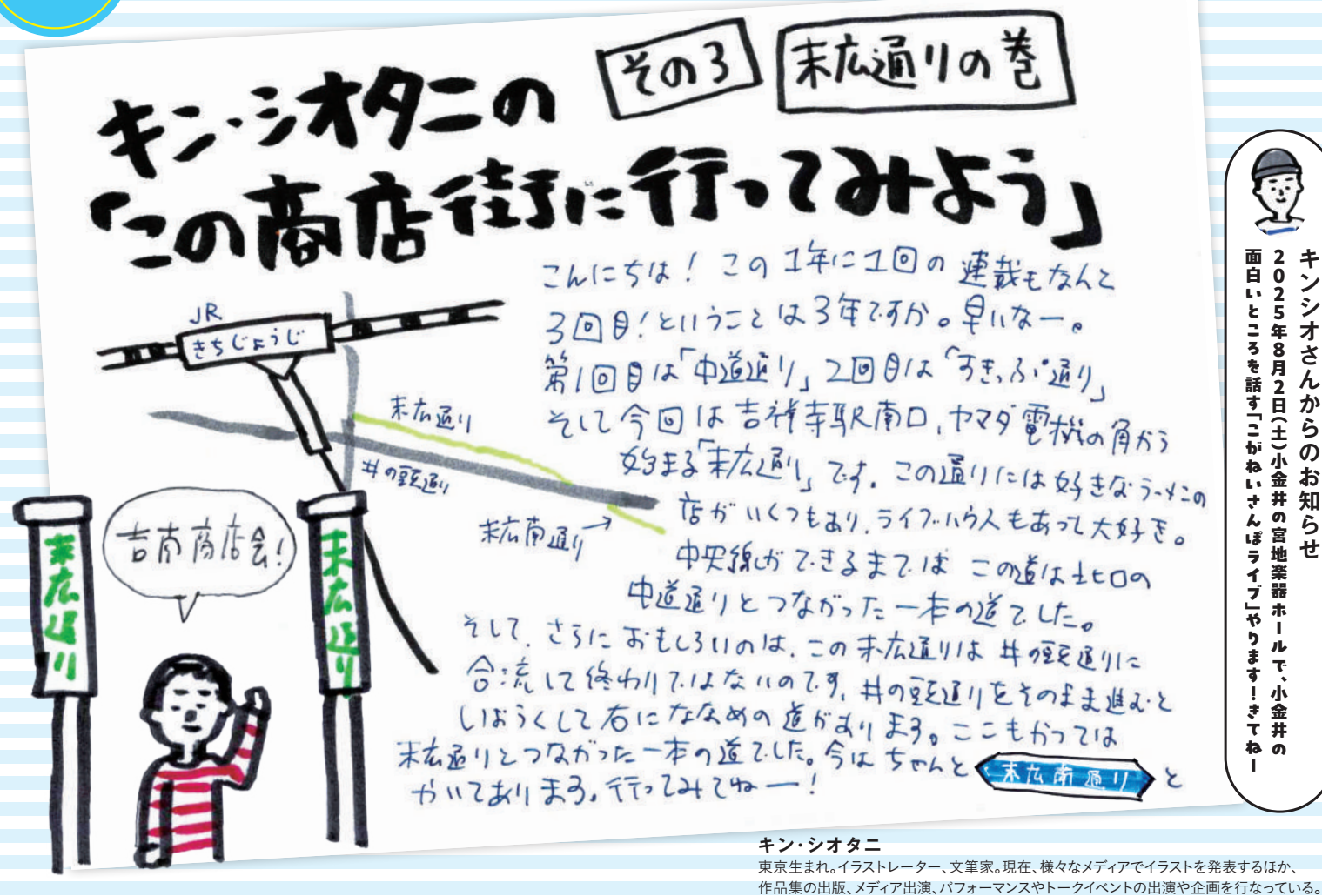
2025年1月、文伸にとって一つの転換となる出来事がありました。昨年末、22年間の大役を終えて惜しまれつつ引退したオフセット印刷機（ハイデルベルグ SM-74 2色機）に代わり、最新のデジタル印刷機「Revoria Press（レボリアプレス）PC120S」が、堂々たる姿でBUN-SHIN Factory にやってきました。

一つの時代を支えた名機のフェアウェルセレモニーの余韻に浸るのも束の間、大型新人を迎える現場のムードは好奇心でいっぱい! さあ、この新しい印刷機を使って、次はどんなことに挑戦しようか! 大きな期待、それと同じくらい緊張感、いろいろな意味でドキドキしながら、制作の現場は動き始めました。

振り返ってみると、街の印刷屋から始まった文伸は、技術革新とともに60余年の歴史を歩んできました。謄写印刷（ガリ版）、軽オフセット印刷、本格オフセット印刷、そしてデジタル印刷へ。時代のターニングポイントには、常に新しい技術と、最先端の印刷機が存在がありました。

情報の担い手として、紙、ウェブ、動画、街そのもの、と様々なメディアを通じてコミュニケーションをサポートする私たちは、より豊かな表現を常に模索しています。時代とともに新しい技術が発展していく中、印刷の可能性も無限大。より良い技術と方法を探りながら、もっと自由にさらに楽しく、「人に伝える・人とつながる」をお手伝いしていきます!

“商店街”をテーマとしたメディア連載やYouTube番組、トークショーなどをライフワークとする“キンシオ”さんによる、描き下ろし連載！



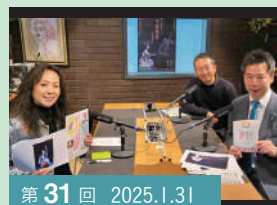
キン・シオタニ

東京生まれ。イラストレーター、文筆家。現在、様々なメディアでイラストを発表するほか、作品集の出版、メディア出演、パフォーマンスやトークイベントの出演や企画を行なっている。



「月刊ミタカ会議」は、文伸社屋と同じ建物内にある、アツデンさんの撮影・録音スタジオから生配信でお届けしているトーク番組です。毎回アツデンと文伸、両社長の好奇心をくすぐる人物をゲストに招き、「会社づくり」や「まちづくり」を中心としたさまざまなテーマで盛り上がっています！今回は、2024年4月～2025年3月の配信回のゲストを一覧でご紹介します。

俳優・アーティスト
武蔵野市民芸術文化協会 会長
金子あい 様



第31回 2025.1.31

車いすテニスプレイヤー
高室苧綺 様



第30回 2024.12.16

放送作家／コンテンツプロデューサー
はたせいじゅん 様



第29回 2024.11.14

俳優／映画監督
神山てんがい 様



第33回 2025.3.3

J-WAVE NAVIGATOR
吉田まゆ 様



第32回 2025.2.19

まちの保育園 吉祥寺
コミュニティコーディネーター
稲葉匠 様



第28回 2024.10.21

けん玉世界チャンピオン／年齢別の部門
武蔵野子ども協会 学童クラブ職員
飯田瑞樹 様



第27回 2024.8.13

武蔵境自動車教習所 代表取締役社長
／Brilliant Hope, Inc CEO
高橋明希 様



第26回 2024.6.17

前武蔵野市長
松下玲子 様



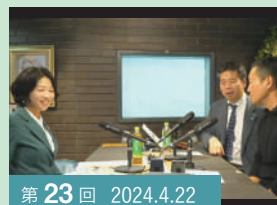
第25回 2024.5.24

フェアトレードむさしの代表／米国CTI
認定CPCC®
柴山真 様



第24回 2024.5.17

自由民主党東京都第18選挙区 支部長
福田かおる 様



第23回 2024.4.22

YouTubeで
毎月生配信＆過去回を
アーカイブ！



文伸さんに新たに導入！

1パス6色プリントの すごいデジタル印刷機

FUJIFILMの

Revoria[※]

試してみた！



※：Revoria Press™ PC1120

文伸の出版・周年事業部とともに進めていた周年誌の表紙で、新たに導入されたレボリアを使ってみることにした。使いたいと思っていた用紙にも合いそうだ。今回はホワイトとゴールドに絞って、その使用感をレポートします。

／デザイナー的にうれしいところ／

01

CMYK+特殊トナー
2色を1パスで！

CMYKトナーに加え、最大2色の特殊トナーを1パスでプリント。表現の幅が広がる！本番と同じ校正が手軽に出せるのも安心。

02

CMYKに加えて
特殊トナーが6種！

特殊トナーは、ゴールド／シルバー／ホワイト／ピンク／カスタムレッド／クリア。これらとCMYKをかけた金属カラーも使える。

03

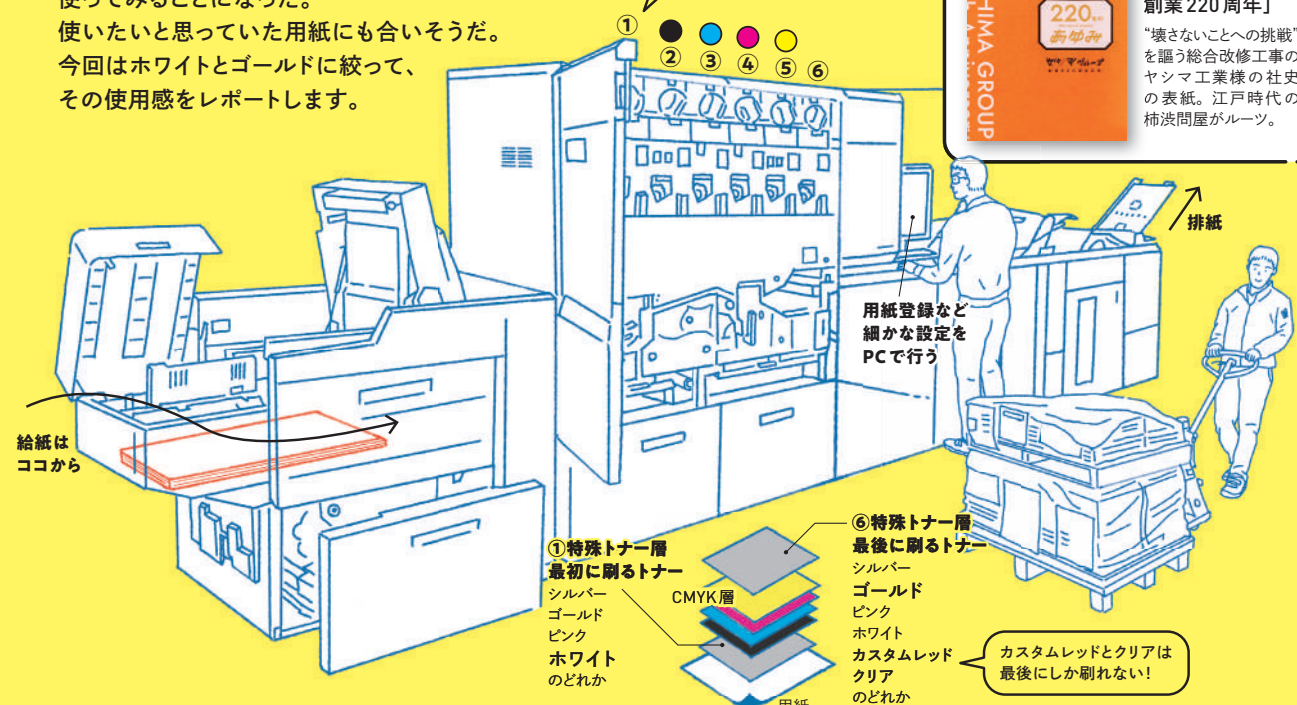
用紙への対応が
幅広い！

エンボス紙はもちろん、フィルムや蒸着紙、薄紙（52g/m²）にも対応。用紙サイズは最大330×1200mmまで。小口折の表紙も可能だ！

特殊トナーの交換は
1本あたり40分
ほどかかった。

今回のデザイン

「220年のあゆみ
ヤシマグループ
創業220周年」
“壊さないことへの挑戦”
を謳う総合改修工事の
ヤシマ工業様の社史
の表紙。江戸時代の
栞紙問屋がルーツ。



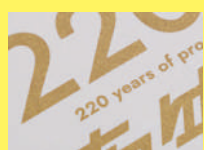
プリント順とレイヤーの関係

まずはFUJIFILMのレボリア特設サイトで、スウォッチファイルをダウンロード。今回、データはIllustratorで作成した。印刷順は、①の特殊トナーを経て、K→C→M→Y（②～⑤）、最後に⑥の特殊トナーとなる。この順番がデータ作成時のレイヤーの上下関係とリンクしている。①の特殊トナーで刷るデザインのレイヤーは一番下に、その上にCMYK、一番上のレイヤーに⑥のデザインを配置。印刷機の①⑥に搭載できるトナーには制限があることを理解しておけば、デザインと加工の組合せを考えるのに役立つ。

テストプリント



オレンジの紙+ホワイト+ゴールド
1度刷り（上）でも充分白い印象。2度刷り（下）だとより効果的だが、版ズレの可能性があるので文字には向き！



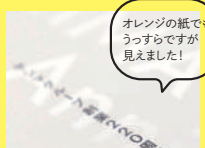
白の紙+ゴールド
コート系の用紙のほうがゴールド感は強い。



濃紺の紙+ホワイト
紙の地色が出るが、「テキスト紙トナー」を使うことで、凹凸ある紙にもトナーがのるようになれるらしい。



クラフト紙+ホワイト
表面がツルツとした紙。ホワイトに光沢感も出て、白い！



白の紙+クリア
角度によって図柄が見えるので、面積大さめのパターンなどの使用で有効かも。

データづくり

今回のデータは、オーバープリントなしで抜きとした。オレンジの紙に直接ゴールドを刷っている。版ズレを防ぐため、下のホワイト版はオフセットして調整。メタリックゴールドの下に敷いたCMYKを透過させたい時は、オーバープリント処理が必要（色見本あり）。

対応データ形式

□アウトライン化したai
□PDF X1a
※PDFで「出力プレビュー」で確認してから入稿がベスト。

【用紙銘柄】 ●オレンジ=ビオトップ GA-FS アプリコット 四六Y170kg ●白の紙=マツコート135kg ●濃紺=ビオトップ GA-FS ミッドナイトブルー 四六Y170kg ●クラフト紙=GAクラフトボード-FS L判T 230g/m²

このページは、文伸が日頃からお世話になっているクリエイターさんにその号のテーマやお題にあわせて自由に企画・制作いただいた記事をリレー形式で掲載していきます。

今回寄稿してくれたのは…

金子英夫さん
(テンテツキ)

テーマ
Revoria体験

神保町でエディトリアルデザイナーとして、書籍、雑誌をはじめ紙媒体の制作に携わる。古い紙、コケ、ビーチコーミングが好きで、山や海で拾ったものを活かしたミニチュア博物館「ハコ博物館（ハコブツカン）」を制作。各地で個展も。

ハコ博物館の
紹介



いろいろ
コラボ！

文伸×地域ゆかりのクリエイター

さまざまな縁で繋がった
魅力あふれる方々とのコラボ企画！

break time ブレイクタイム

私たちのホームグラウンドといえば、三鷹・武蔵野エリア。
同エリアにまつわるクイズを楽しみながら、地域情報を深掘り！



解ければあなたも地元民！
これは何の写真でしょう？

「昭和100年」にあたる2025年は、戦後80年の節目でもあります。そこで今回は、
武蔵野の戦争遺跡に注目。それぞれ、何を撮影したものでしょう？



例題

井の頭自然文化園の
人気者だった象がモ
デル。名前は、戦争
中に猛獣処分で亡く
なった1頭から継い
でいます。

答え：吉祥寺駅北口広場
の「ゾウのはな子の銅像」



Q1

戦時中、武蔵野市関
前周辺には高射砲陣
地がありました。写
真を撮影したこの場
所一帯にも、当時、高
射砲6門が設置され
ていたそうです。さ
て、ここはどこ？



Q2

写真は、都立武蔵野
中央公園の一角を撮
影したものです。この
大型説明版にも書か
れていますが、戦時
中、ここはどんな場所
だったでしょう？



Q3

【※難問！】

井の頭自然文化園の
アカマツの木には、V
字型のように皮を切
り取られた痕跡が
残っているものがあ
りますが、これは何の
跡？

2025年9月30日まで解答を受付中！ ※応募者全員にオリジナルメモ帳をプレゼントします。



Googleフォームで
ご解答＆ご応募いただけます
◀スマホで読み取ってください



正解は2025年10月1日発表！
ウェブ&SNSでチェック！



※メールかハガキでもご応募いただけます。

【メール宛】 hon@bun-shin.co.jp

【ハガキ宛先】〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 1-12-17

株式会社文伸 「グラフ文伸+ 懸賞」係

★応募の際はご自身のご連絡先の記載を忘れずにお願いします★

【個人情報の利用目的について】

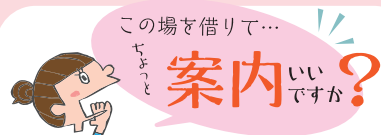
文伸は個人情報保護に関する認証「プライバシーマーク」を取得し、社内委員会による継続的な啓発・管理体制を構築しています。ご記入いただいた個人情報は以下の目的にのみ利用し、本人の同意なく第三者に提供いたしません。▶ご回答・ご応募いただいた皆さまに、プレゼントを送付するため。▶プレゼントが返送された場合などに業務上の連絡を取るため。



GREEN PRINTING JAPAN
F-010010
本工場は、環境に配慮
したGPP認定工場です。



ミックス
紙
FSC® C178086



この場を借りて...
案内 いいですか？

各担当からひと言ご案内。気になる方は
文伸にお気軽に問い合わせください！

☎ 0422-60-2211
✉ office@bun-shin.co.jp

職場体験に来ませんか？

大学生インターンや中学生の職場
体験を随時受付中です。プログ
ラム学習など教育機関の方のご
相談も承ります。



総務・経理部
川井 尚子



工場見学に来ませんか？

製版、印刷、加工まで書籍や印刷
物づくりの流れをご説明します。
学校・企業、地域グループの
方も大歓迎です！



Factory
古賀 賢



自分の本をつくりませんか？

編集、デザイン、印刷・製本まで、
思いに沿った魅力的な本づくりを
「丁寧・良質・リーズナブル」
に行います。



出版・周年事業部
稲富 能恵



周年を迎える皆さまへ

周年ロゴ、記念誌、映像、特設ウェブ
の制作や、式典の企画・運営など
周年事業をトータルでサポート
します！



出版・周年事業部
武藤 毅



動画制作もお任せください！

私たちが得意とするのは紙媒体の制
作ではありません。動画や
ウェブサイトの制作も多数の
実績があります。



クリエイティブ
制作部
大嶋 徹

